



ま ち の 話 題

9 1日警察署長 24 笑顔で交通事故防止を呼びかける



ドライバーに啓発物品を配る蓬田さん

秋の交通安全運動期間中の24日、島名在住小峰華子さんと東小学校5年生の蓬田葉月さんが高萩署の1日警察署長に就任し、交通安全を呼びかけました。2人は警察官の制服に身を包み、河野尊署長から「交通ルールを再度確認してもらえよう一緒に呼び掛けてほしい」と委嘱状を受け取った後、キャンペーンに参加してチラシや啓発物品を配布しました。また、小峰さんは、たかはぎFMに出演し



たかはぎFMに出演する小峰さん

10 日頃の成果を発表 12・13 「第36回中央公民館まつり」開催

中央公民館を拠点とするグループが日頃の活動の成果を発表する「第36回中央公民館まつり」が中央公民館、市民体育館、文化会館で開催されました。45団体が作品展示やステージ発表をしたほか、公民館利用者同士の交流を図りました。展示コーナーでは、絵画や山野草、編物など多種多様な作品が展示され来場者の関心を誘いました。また、1日目に文化会館で行わ



れたステージ発表では、軽スポーツやコーラス、民踊、朗読など様々な演目が繰り広げられ、観客を楽しませていました。

9 23 3年ぶりの「ささら舞」奉納

下君田の王塚神社で例祭が開かれ、伝統の「ささら舞」が奉納されました。王塚神社は東日本大震災で参道や本殿の一部が被災し、その復旧のため、ささら舞も過去2年間中止。3年ぶりに舞が奉納されました。この「ささら舞」は、今から400年以上前の佐竹氏が当地を治めていた永祿年間から続く伝統芸能で、子孫繁栄や五穀豊穡を願って子どもたちが笛や太鼓の音に合わせて舞を披露します。獅子装束姿の子どもたちは



元気いっぱいに踊り、見物客を喜ばせていました。

10 3 実りの秋を実感 君田小稲刈り体験

君田小学校の児童が校内にある「風の子水田」で稲刈りに挑戦しました。地元農家で春の田植えから同校の農業指導をしている佐川福德さんから2人から鎌の持ち方や稲穂の根本を握って一気に裁断する方法を教わり、児童たちは、高さ約80センチに成長したもち米を次々と収穫。手際よくわらを束ね“おだ掛け”作業もこなしました。5年生の佐藤遥香さんは「去年よりも上手に稲を刈ることができた。収穫した餅米をつ



いて早く味わいたい」と声を弾ませていました。

高萩市の大事な情報をLINEでお届け!
LINE ID @takahagicity



LINEの「友達追加」から「ID検索」で登録してください。ほかにも、左記の「QRコード」を読み取り登録する方法もあります。タイムリーに、市民の皆さまに役立つ情報をお届けします!!



10 生涯現役フェスティバル 5 内海桂子さんが講演

年を重ねても積極的に活動する「生涯現役」を実践している団体・個人の表彰や講演会などを行う「生涯現役フェスティバル2013」が開催されました。会場となった総合福祉センターには、健康相談・測定コーナーやシルバーリハビリ体操の体験コーナーなどが設けられ、お年寄りたちは明るい笑顔を見せていました。生涯現役表彰式では、長年、ボランティアで図書館の書架づくりや小中学校に手作りちり取りを寄贈し続けている「公民館ボランティアクラブ(根本伊弘代表)」が受賞。また、今年度から新たに設けられた個人表彰には、子どもたちの登下校の見守り活動を10年間続けている大友守夫さん(下手綱)が受賞しました。その後、漫才師の内海桂子さんによる「転んだら起きればいいさ」をテーマにした講演会が行われ、歌と踊りを交えた楽しいトークに、参加者が大いに沸いていま



ている大友守夫さん(下手綱)が受賞しました。その後、漫才師の内海桂子さんによる「転んだら起きればいいさ」をテーマにした講演会が行われ、歌と踊りを交えた楽しいトークに、参加者が大いに沸いていま

10 秋を感じながら 14 市民歩く会

体育の日の10月14日、教育委員会等が主催する市民歩く会が行われました。この事業は、市民の体力維持や健康増進を図ろうと、毎年、体育の日に合わせて実施しているもの。コースは文化会館をスタートし花貫ダムを望みながら花貫ふるさと自然公園まで歩く約8キロ。約300人の参加者は、秋晴れの下、それぞれのペースでウォーキングを楽しみました。(今月の表紙)

10 大規模災害時にアマ 18 無線活用 協定締結

高萩市は、地震や台風などの大規模災害に備え、アマチュア無線奉仕団 県北地区分団(鈴木敏弘 分団長)と「災害時における情報通信に関する協定」を締結しました。同団体の会員は37人。災害時に加入電話や携帯電話が不通となった場合に、団員のネットワークを活かし、被災地の状況把握や、救護状況、道路情報などの情報をアマチュア無線を使って伝達していただく内容です。10月18日に総合福祉センターで締結式があり、鈴木分団長と草間市長が協定書に署名。鈴木分団長は「いつ起きるか分からない災害に備え、心して訓練を重ねたい」と話し、草間市長は「東日本大震災の時は情報手段の確保が課題であった。協力が得られて大変心強い」とお礼を述べました。



10 松岡中学校で建築作業体験 16

松岡中学校の2年生67人が県建設業協会建設未来協議会会員の指導の下、学校内の木造倉庫建築に挑戦しました。この取り組みは、中学生に建設事業への親近感を深めてもらうとともに、職業選択の糧になるようにと生徒たちが普段利用する学校施設の建設作業を楽しみながら体験してもらうもの。1回目のこの日は、鉄筋加工・組み立てなど基礎工事と測量



機器の操作を体験。次回は、木工組み立てなどを行う本格的なものです。作業にあたった滝和子さんは「どの作業も技術が必要。難しかったけれども楽しかった」と完成を楽しみにしていました。

10 北宿並木一本松四阿が完成 7

2年前に枯れたため、伐採してしまった北宿一本松。現在は根本の株だけが残っていますが、最後の1本となった北宿一本松の株の保護とその史実を後世に残すため、あずまやとベンチが完成しました。北宿一本松は、郷土の偉人「戸沢政盛公」が、家康公の命を受けて整備したと考えられています。場所は本町通り第一幼稚園前です。

